

「令和2年度第1回人と自然が織りなす、輝くまち創生有識者会議」議事概要

審議会等の名称	令和2年度第1回人と自然が織りなす、輝くまち創生有識者会議
開催日時	令和3年2月16日（火）～令和3年3月10日（水）
開催場所	書面による開催
議 題	<p>(1) 国全体の地方創生の状況について</p> <p>(2) 町の地方創生の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略の進捗状況報告 ・新型コロナウイルス感染症の地域への影響について ・地方創生臨時交付金の活用状況について
公開・非公開の別	公開（本議事概要の公開による）
議事結果	<p>【出席者】 (委員) 野口 テル子 委員, 大平 伸一郎 委員, 牧山 正男 委員, 海山 宏之 委員, 国井 武 委員, 小林 求 委員, 成島 良亮 委員, 江田 麻裕子 委員, 木村 美由紀 委員, 田島 峰子 委員</p> <p>【議事概要】 議事</p> <p>(1) 国全体の地方創生の状況について（資料1）</p> <p>(2) 町の地方創生の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略の進捗状況報告（資料2-1, 2-2） ・新型コロナウイルス感染症の地域への影響について（資料3） ・地方創生臨時交付金の活用状況について（資料4） <p>【会議の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による国民の行動変容を踏まえた国の計画変更の概要を説明した。 ・2019年度のKGIとKPIの進捗状況を報告した。KGIについては、目標値を達成しており、KPIについては達成済みが約22%、継続取組が約47%、改善必要が約27%となった。 ・総務省公表の人口移動報告の速報値を報告した。阿見町は475人の転入超過となり、全国の町村で2番目、県内市町村では3番目に転入超過が多い。 ・2020年度に阿見町を含めた地域が新型コロナウイルス感染症による影響をV-RESASを活用して解説し、地方創生臨時交付金等を活用して町が実施した対策について説明した。

【委員意見（抜粋）】

<2019年度の実績について>

- ・阿見町は暮らしやすい町と評価できる。町に対して情報提供や支援を行っていくので、町民の意見を聞く姿勢を持ち続けて欲しい。
- ・KGI の事業所従業者数の増加に比例して転入者や若い世代が増えるのではないか。圏央道の IC もあり工場用地の需要があるが土地がなく、対応が必要ではないか。荒川本郷地区以外の不動産の動きは弱いと感じる。
- ・取り組みは順調だと思う。転入者が多い町村の多くが「通勤圏の少し外側」に位置しており、ドーナツ化のような状況があるのではないか。阿見町にとってはチャンスになるかもしれない。
- ・総合戦略の進捗は順調だと感じる。足りない部分も含め進めてもらいたい。
- ・企業や大学、自衛隊施設が転入超過に寄与しているのではないか。学生のような一時的な居住者を定住に導ける就職先が不足していると感じる。目立った特産品・新開発品がなく観光振興に繋がっていない。
- ・KPI の従業員 30 人未満の事業所数については新型コロナの影響を考慮すると今後も達成が難しいのでは。農業関連の KPI は順調に進捗しているので、今後は農業分野に軸足を置いて推進したほうが効果が出るのでは。
- ・行政サービスの充実、住環境の整備等、良好なまちづくりが進んでおり、人口の転入超過数を見ても安定した結果が出せたのではないか。
- ・人口の転入超過数から阿見町が持つポテンシャルを感じられる。一方で、対前年増減数では横ばいであり、新たな起爆剤的な要素として、「賑わいのある街づくり」や「子育て支援の充実」などは非常に重要な課題ではないか。
- ・観光協会 HP アクセス数や観光客数の減少は残念。レンタサイクル利用者もあまり増えていないが、これを活用した霞ヶ浦周辺観光や町だけのオリジナル新商品開発に力を入れる必要があるのではないか。ワンオペ育児が多い中、子育て支援サービスの利用者が減っており、理由を探る必要がある。

<2020年度の取組について>

- ・新型コロナにより多くの人の夢や希望が失われてしまった。交付金による支援が平等になされたのか検証が必要。
- ・新型コロナで多くの人が困っているが、町内の店舗数がさらに減ると町民の生活や転入者数にも影響が出ると思う。阿見エールめしのように町民同士が助け合える取組やプレミアム商品券で町内を盛り上げる取組は評価できる。今後も継続的に応援して欲しい。
- ・新型コロナに大きな影響を受けた 1 年だったが、あと少しの間は耐えるし

	<p>かないのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をみる限り、報道よりも堅調なところがある感じる。交付金事業についてはこのままで仕方がないが、ワクチン接種をなんとかスムーズに実施して欲しい。 ・新型コロナの影響により、EC・コンテンツ配信・ネットショッピング・育児、健康医療検索増加傾向にあるが、町内のキャッシュレス化・デジタル化に遅れを感じる。庁舎窓口でも長時間の手続き待ち見受けられ、改善急務。 ・交付金の活用については、今後も実情に合った柔軟な対応をお願いしたい。 ・コロナ禍の事業としては妥当だと思うが、町民がその効果を実感できたかどうかはの精査は必要。2021年度はより発展的な対策を望む。 ・各業種で大きな影響を受けているが、飲食などは今後さらに厳しくなることが考えられる。その中で、「コンテンツ配信」が伸びており、プラス面を活用できれば、大きな力になるのでは。 ・町立小学校児童生徒1人1台端末整備事業、修学旅行の中止に伴い発生する費用の補助事業、町立小中学校電話設備増設事業、公共交通推進事業は評価できる。 <p><2021年度の取組について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常が戻る1年になるのかどうか。生活困窮者への支援、就労や事業者への支援、地球温暖化や災害への備え、ICTの発達に取り残される人への対応など課題は山積しているが、偏りなく対応して欲しい。 ・町内の物流系の会社の増加や国道や圏央道の拡張により交通量が増えると思う。運転手の休憩場所、りんりんロード利用者の町内滞在時間を増やす目的からも道の駅建設に向けた前向きな検証が必要ではないか。南平台、よしわら地区などの交通の便が悪い地域の人口減少が加速する前に気軽に乗れるコミュニティバスの導入が必要ではないか。 ・ワクチン接種が十分に広がったその直後が大切。そのタイミングでどんな施策を実施できるかで、県内における立場が変わってくるのでは。まい・あみ・まつりに似たものを開催するとか。町としての一体感がある企画を是非考えて欲しい。 ・とにかくワクチン接種事業をきちんとやることだと思う。 ・全国から問い合わせを受けるような特産品の開発に期待する。リモート勤務の加速、未使用の公共施設等のスペース提供、空き事務所の斡旋等の働き方支援もお願いしたい。 ・転入超過は良いが、「町への人の流れをつくる」の観光部門で苦戦しており対策の必要性を感じる。 ・行政としても「巣ごもり需要」に対応できるように。スマホ・PC向けによ
--	--

	<p>りシンプルに情報発信し、より簡易に行政サービスへの申し込み等ができるようになれば良い。</p> <ul style="list-style-type: none">・全国的に進学について苦しい家庭が増えてきており、阿見町の状況把握と対応が必要である。また、ワクチンについては一覧性のあるHPなどで情報を開示すれば利用しやすく、町民からの質問や提案を吸い上げ、行政と町民の双方向コミュニケーションがとれる仕組みがあれば、より開かれた阿見町になるのではないかと。東京圏から離れてくる人が増えることを考えると、より阿見町の魅力のPRや子育て支援の充実が好機になるのではないかと。・感染症対策を取りながら、新しい生活様式への移行を考える必要がある。新型コロナの影響で、人との関わりが減少し孤立する高齢者、育児中の人、介護中の人など弱い立場の人を支援する必要がある。 <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---